

# Q-SACCS とは

Quick  
Structural  
Assessment of  
Community  
Care  
System for neurodevelopmental disorders

地域における発達障害児者等の支援体制を分析・点検するための地域評価ツールとして

2018年に本田秀夫氏らにより開発されました。

詳細は [検索 Q-SACCS 地域診断](#) よりご確認ください。

都道府県・市区町村で 福祉 を担当されているみなさまへ

その人らしく生き活きと暮らせる街を  
つくりませんか?  
生き活きと輝いて、誰もが住みやすい街を

## Q-SACCS 活用にあたっての相談窓口

### 国立障害者リハビリテーションセンター

[発達障害情報・支援センター]では、発達障害に関する信頼できる情報を発信し、ご本人・ご家族、全国の発達障害者支援機関及び一般国民に対して広く普及啓発活動を行っています。

地域でQ-SACCSを用いた体制づくりを検討されている場合、必要に応じて都道府県・政令市の発達障害者支援センターや発達障害者地域支援マネージャーなど、関係各所と連携をはかりながら協力させていただきます。

平日 ■ 月～金 9:00～17:00  
TEL ■ 04-2995-3100 (内線 2590)

### 国立のぞみの園

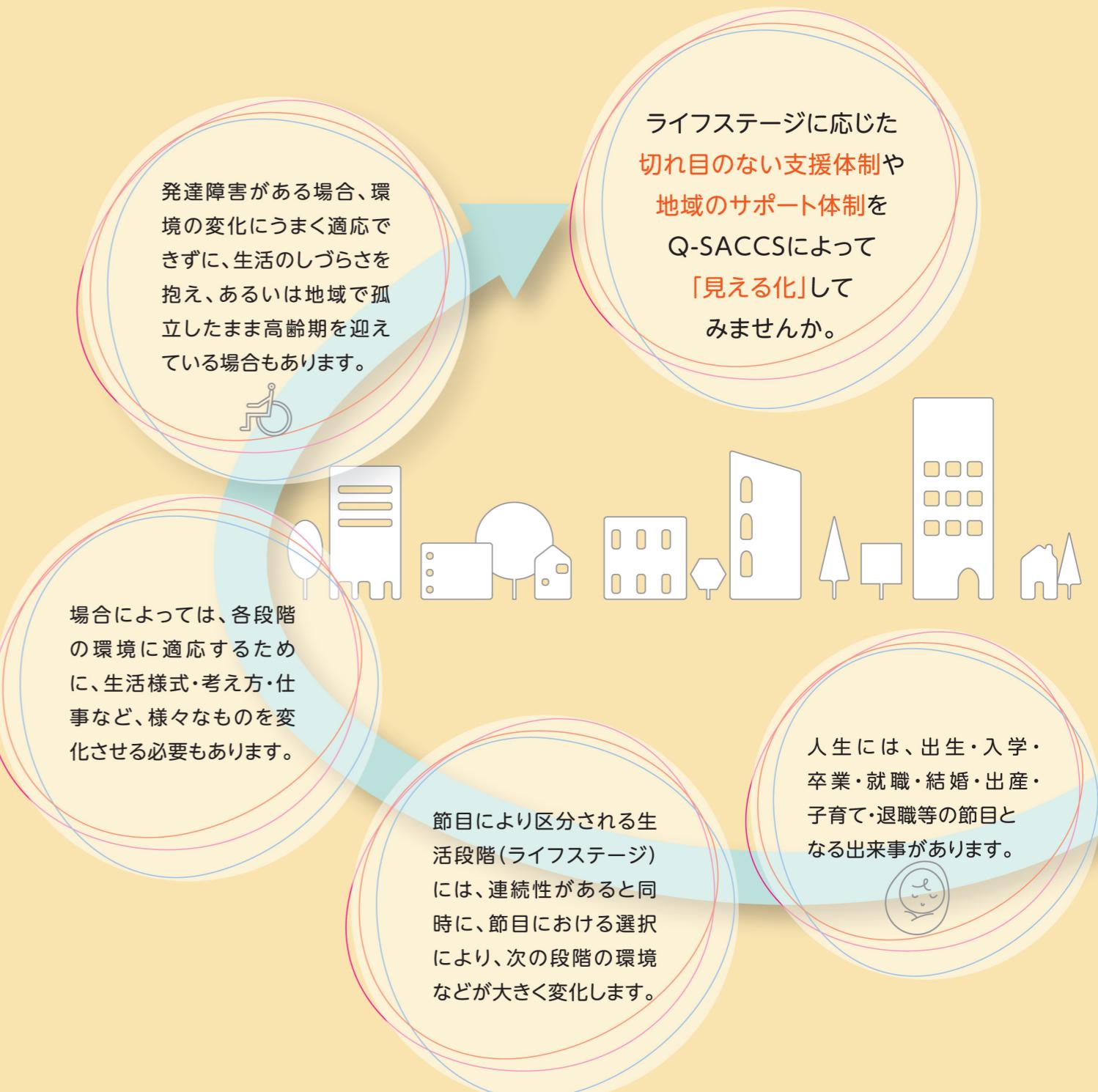
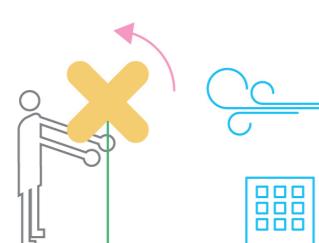
研究部では、知的・発達障害者に係る調査研究及び成果の発信を行なっています。地域でQ-SACCSを用いた体制づくり、中でも高齢期での活用を検討されている場合、発達障害情報・支援センター等と連携をはかりながら協力させていただきます。

平日 ■ 月～金 9:00～17:00  
TEL ■ 027-320-1450



このリーフレットは、明治安田こころの健康財団助成金を受けて作成しました。本研究実施に際しアクション・リサーチにご協力いただきました、埼玉県鳩山町役場、埼玉県川島町役場、福井県坂井市役所及びの研究検討委員(相馬大祐氏、谷口泰司氏、山下浩司氏)の皆さんには心より御礼申し上げます。

作成・発行 ■ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園  
発行日 ■ 2023年5月31日  
デザイン ■ Satoru Takahashi



独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

# “ライフステージに応じた切れ目のない支援体制”

「支援の隙間」と「つなぐ」を「見える化」するための最適ツール

キューサックス

[Q-SACCS]つかってみませんか?

市区町村レベル

都道府県レベル

の課題に

気づき

いいかも

という具体策を考えることができます



Q-SACCSは2018年から乳幼児期で活用が始まりました。

■Q-SACCS② 青：事業化している、赤：明確化が課題、緑：機能強化が課題 (○：事業の全てを自治体職員で実施 △：一部の機能を外部に委託 □：全てを外部に委託)

保育園、こども園が発達が気になる子どもの発見機能を担っていることがわかります。

保健師や「子育て相談」を活用し、レベルⅡの専門療育的支援に繋いでいることがわかります。

〈A市〉 (人口:130,000人) (年間出生:1,450人)	乳・幼児期 0~3歳	持続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H	40歳~	持続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H	60~64歳	持続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H	65歳~	持続的 インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H
レベルI (毎日) 日常生活準	○乳幼児健診 ○保育園 △健康診断 △こども園		○総合相談支援窓口 ○健康診断 ○ボランティアセンター ○生活困窮事業 ○こころの健康相談 ○健康サポート(アプリ等) ○サポートー養成等(フレイル・認知症・生活等支援) ○女性相談 ○こども食堂		○総合相談支援窓口 ○健康診断 ○ボランティアセンター ○こころの健康相談 ○健康サポート(アプリ等) ○サポートー養成等(フレイル・認知症・生活等支援) ○女性相談 ○こども食堂 ○サロン	総合相談や健康診断、サークル活動等が気になる高齢者の発見機能	○総合相談支援窓口 ○健康診断 ○ボランティアセンター ○生活困窮事業 ○こころの健康相談 ○健康サポート(アプリ等) ○サポートー養成等(フレイル・認知症・生活等支援) ○女性相談 ○老人クラブ	65歳以上は、認知症やフレイル予防に関する事業が増えていることがわかります。
共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H	○保健部(師) ○発達フォロー事業 ○子育て相談健康相談 □サポートノート(ツール) △要保健児童対策 地域協議会	○保健師 ○巡回相談(心理士) △保育士 ○要保健児童対策 地域協議会	○市保護師(こころの相談へのつなぎ) ○広報 ○基幹相談支援センター(1ヶ所) ○委託相談支援事業所(2ヶ所) ○特定相談支援事業所 ○行政・役場・社協職員 ○医療機関 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー	○移行支援会議(障害→障害) ○地域ケア会議 ○サービス調整会議 ○担当者会議 ○保健師 ○役場職員・行政職員 ○医療機関 ○相談支援包括化推進委員 ○地域包括支援センター職員	○市保護師(こころの相談へのつなぎ) ○広報 ○基幹相談支援センター(1ヶ所) ○委託相談支援事業所(2ヶ所) ○特定相談支援事業所 ○行政 ○医療機関 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー	を担っています。 ○地域ケア会議 ○サービス調整会議 ○担当者会議 ○個別会議	○市保護師 ○基幹相談支援センター(1ヶ所) ○委託相談支援事業所(2ヶ所) ○特定相談支援事業所 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー ○ひきこもり支援相談員(臨床心理士兼社会福祉士) ○民生委員・児童委員 ○生活保護ケースワーカー	○相談支援包括推進員 ○行政職員 ○地域包括支援センター職員 ○民生委員 ○基幹相談員(障害専門)
レベルII (定期的) 専門療育的支援	○児童発達支援センター □児童発達支援 □保育所等訪問支援	○保健師 ○心理士 ○基幹相談支援センター ○家庭相談員 □相談支援専門員 □委託相談員	○障害福祉サービス ○受診勧奨訪問 ○こころの健康相談(健康福祉センター・精神保健福祉センター・精神科医・心理士) ○母子生活支援施設措置事業 ○ひとり親家庭日常生活支援事業 ○フリースペース(障害・ひきこもり者対象) ○地域活動支援センター ○家族介護教室(家族向け)		○障害福祉サービス ○受診勧奨訪問 ○こころの健康相談(健康福祉センター・精神保健福祉センター・精神科医・心理士) ○母子生活支援施設措置事業 ○ひとり親家庭日常生活支援事業 ○フリースペース(障害・ひきこもり者対象) ○地域活動支援センター ○家族介護教室(家族向け)		○障害福祉サービス ○受診勧奨訪問 ○こころの健康相談(健康福祉センター・精神保健福祉センター・精神科医・心理士) ○母子生活支援施設措置事業 ○ひとり親家庭日常生活支援事業 ○フリースペース(障害・ひきこもり者対象) ○地域活動支援センター ○家族介護教室(家族向け)	○相談支援包括化推進員 ○精神保健福祉士(行政) ○地域包括支援センター職員 ○民生委員 ○基幹相談員(障害分野)
共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H	○保健師 ○心理士・言語聴覚士 ○基幹相談支援センター △要保護児童対策 地域協議会 □委託相談		○社協・総合相談員 ○市保健師 ○基幹相談支援センター ○委託相談支援事業所 ○特定相談支援事業所 ○行政・役場・社協職員 ○医療機関 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー	○移行支援会議(障害→障害) ○地域ケア会議 ○サービス調整会議 ○担当者会議 ○個別会議 ○あんしんサポート職員 ○社協・組合相談員 ○保健師 ○役場職員	○市保健師 ○基幹相談支援センター ○委託相談支援事業所 ○特定相談支援事業所 ○行政 ○医療機関 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー	○移行支援会議(障害→障害) ○地域ケア会議 ○サービス調整会議 ○担当者会議 ○個別会議	○市保健師 ○基幹相談支援センター ○委託相談支援事業所 ○特定相談支援事業所 ○PSW(行政)・役場職員 ○医療機関 ○地域包括支援センター ○ケアマネージャー ○ひきこもり支援相談員(臨床心理士兼社会福祉士)	○相談支援包括化推進員 ○精神保健福祉士(行政) ○地域包括支援センター職員 ○民生委員 ○基幹相談員(障害分野)
レベルIII 医療的支援	○●●病院(内・外)		○高次脳機能センター ○●●●病院 ○●●●県立病院 ○●●●大学医学部付属病院 ○精神科ディケア ○訪問看護		○高次脳機能センター ○●●●病院 ○●●●県立病院 ○●●●大学医学部付属病院 ○精神科ディケア ○訪問看護		○高次脳機能センター ○●●●病院 ○●●●県立病院 ○●●●大学医学部付属病院 ○精神科ディケア ○訪問看護	

高齢期での活用は  
2022年度に  
3つの市町で  
始まったばかりです。



どこにつなぐ?  
どう支える?  
連携先は?  
一步  
進むための  
取り組み

気づき

いいかも

- 高齢者の支援機関・行政担当部署と発達障害者支援センターがつながっていないかった。
- 行政内で部署を横断した情報の共有できていなかった。
- 発達障害者支援センターに講師をお願いし、発達障害に関する基礎知識を民生委員や高齢担当機関に周知するといいかも！
- 研修の情報を共有し、部署・領域をまたいでの参加を促すといいかも！
- 自立支援協議会などで地域の課題を確認するのに、みんなでQ-SACCSをつくるといいかも！

高齢期になって初めて発達障害に伴う生きづらさが現れても、安心して暮らせる地域の支援環境が求められます。